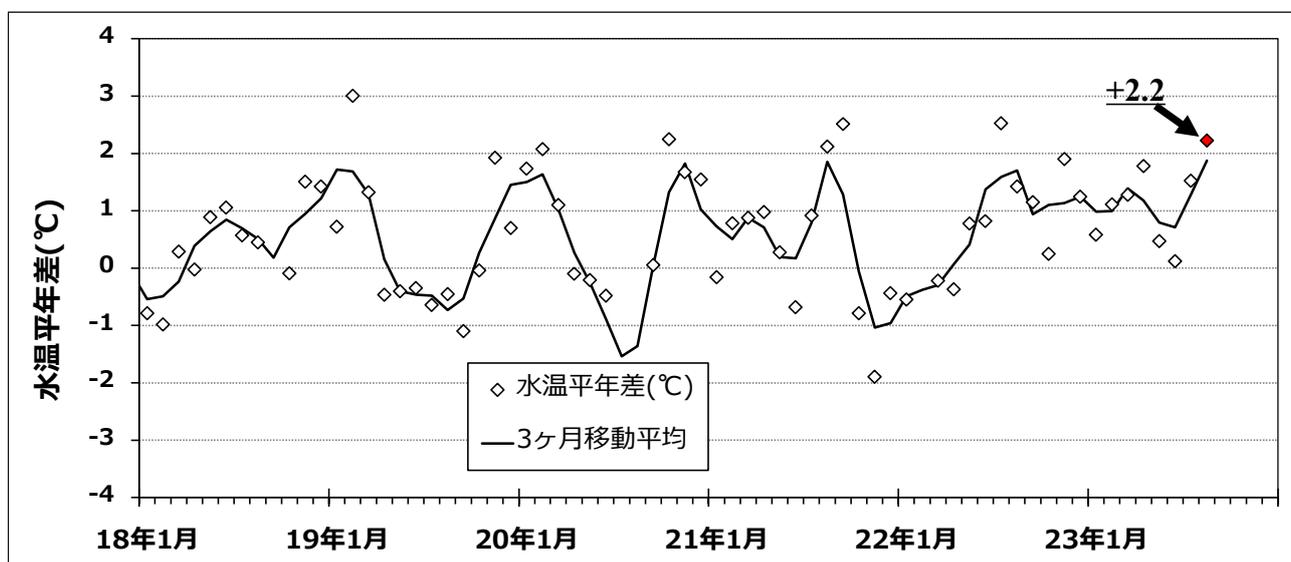


## 【水温の変動】

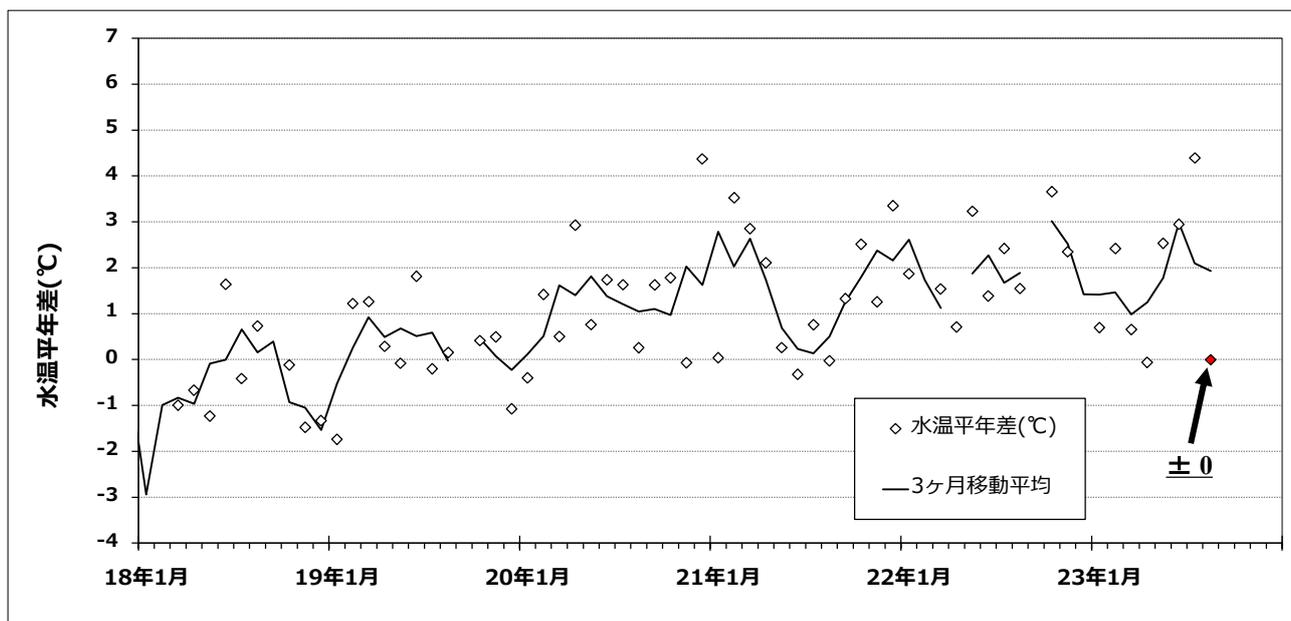
8月21、22日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部の海面水温は平年差+2.2°Cで高めとなっています。沖合域の水深200mは平年差0°Cで平年並みとなっています。8月21日の人工衛星画像によると、黒潮は大王崎沖北緯30度付近から御前崎沖北緯33度付近までS字状に北上するAs型流路となっています。黒潮の最南下位置からの北上流路が南下かつ東進したため、沖合域200m深の水温偏差は平年並みとなっています。

### 湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



### 沖合域水深200m（A4, A12, A19の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

### 【渥美外海の海況】

海面水温は気温の上昇と日射によって海域全体で高くなっています。沿岸部で見られるクロロフィル a 濃度のピークは、沖合域へ向けて垂表層へ続いています。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

